＜様式１＞　管理運営状況評価書　　：選択　　：自動計算のため入力不要

【対象年度：令和7年度】　　（　④ 社会体育施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施　設　名	掛川市いこいの広場	担当課名	文化・スポーツ振興課	担当係	スポーツ振興係
区　分	内　容　・説　明				
1 施設及び指定管理者の状況 (1) 設置条例名	掛川市スポーツ施設条例				
(2) 施設設置目的	スポーツの振興を図るとともに、市民（東遠圏域）の健康及び体力を増進させるため				
(3) 施設が有する設備・機能の概要	野球場（18,500㎡、両翼92m、中堅120m、観客席7,000席）、多目的広場（15,000㎡野球場2面、ナイター設備有）、テニスコート（砂入り人工芝5面、ナイター設備有）、管理棟、駐車場（450台）				
(4) 施設建設年度	昭和51年度				
(5) 耐震性能	あり　（耐震性能）　Ⅰａ				
(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用の見込）	スコアボード建替え工事（R9 約3,500万円）				
(7) 指定管理者名	掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体				
(8) 指定期間	平成29年　4月1日から　令和9年　3月31日まで				
(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし　※　設定ありの場合：期間　平成28年度　～　令和8年度　限度額：　12施設計　1,723,534千円				
(10)施設の管理運営形態	③ 指定管理料＋利用料金併用制度				
(11)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
(12)その他事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり　☐ 提出なし　※　地方自治法第244条の2第7項による提出義務				
(14)利用者満足度調査等の実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　「実施あり」の場合、直近の実施年度：　令和7年度				

区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
2 利用状況	(1) 施設利用者数	（目標値）	89,430	89,430	89,430	89,430	※　協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）	84,594	84,055	68,782		
	内訳（施設・設備ごと）	①野球場	14,282	11,527	9,550		
		②多目的広場	18,452	17,987	16,215		
		③テニスコート	22,547	21,749	22,998		
		④観客数	29,313	32,792	20,019		
	(2) 施設稼働率（利用率）		R05実績	R06実績	R07実績		↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・整備ごと）	①野球場 A 平日昼間	24.0%	23.0%	22.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数2×営業日数）
		①野球場 B 平日夜間	0.0%	4.0%	2.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数1×営業日数）
		①野球場 C 土日祝昼間	87.0%	90.0%	80.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数2×営業日数）
		①野球場 D 土日祝夜間	0.0%	4.0%	1.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数1×営業日数）
		②多目的広場 A 平日昼間	17.0%	14.0%	15.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数4×営業日数）
		②多目的広場 B 平日夜間	33.0%	42.0%	48.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数2×営業日数）
		②多目的広場 C 土日祝昼間	65.0%	65.0%	59.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数4×営業日数）
		②多目的広場 D 土日祝夜間	23.0%	25.0%	18.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数2×営業日数）
		③テニスコート A 平日昼間	47.0%	47.0%	49.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数25×営業日数）
		③テニスコート B 平日夜間	86.0%	84.0%	82.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数5×営業日数）
		③テニスコート C 土日祝昼間	82.0%	79.0%	78.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数25×営業日数）
		③テニスコート D 土日祝夜間	51.0%	58.0%	56.0%		算出式：利用面数／（利用可能面数5×営業日数）
区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
3 管理運営状況	(1) 指定管理者名						※ 1-(7)　現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2) 利用者1人当たりの運営経費		231	246	298		
	(3) 運営日数		308	307	309	312	
	(4) 運営人員	① 正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	※ 指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		② 臨時職員	13.0	13.0	14.0	14.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、％）

区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(1) 運営コスト（A）	① 人件費	13,845,083	14,274,884	14,591,930	15,240,000	
	② 印刷費	0	0	0	0	
	③ 通信費	248,535	241,250	240,585	274,000	
	④ 事務用品・旅費・図書費等	313,358	269,780	303,646	220,000	
	⑤ 借上料	3,129,843	3,911,520	3,254,955	1,918,000	
	⑥ 保険料・消費税(租税公課)等	1,372,257	1,374,686	1,486,153	1,540,000	
	⑦ その他(支払手数料・広告宣伝費・一般管理費・雑費)	610,000	588,610	597,520	592,000	
	小　計	19,519,076	20,660,730	20,474,789	19,784,000	
	対前年度増減率		5.8%	−0.9%	−3.4%	
区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(2) 施設コスト（B）	① 管理委託費（外注費）	2,283,620	2,253,565	2,301,631	2,740,000	
	建物管理委託	2,283,620	2,253,565	2,301,631	2,740,000	
	② 修繕費	500,546	794,790	677,052	460,000	
	③ 光熱水費	5,335,422	5,471,867	4,953,925	4,200,000	
	④ 燃料費	450,597	464,158	504,450	480,000	
	⑤ 清掃費	0	0	0	0	
	⑥ 保守点検費	0	0	0	0	
	⑦ その他（施設消耗品等）	4,205,223	5,125,329	5,723,496	4,684,000	
	小　計	12,775,408	14,109,709	14,160,554	12,564,000	
	対前年度増減率		10.4%	0.4%	−11.3%	
(3) トータルコスト（施設管理費の計）（A）＋（B）		32,294,484	34,770,439	34,635,343	32,348,000	
(4) トータルコストのうち、運営コストの割合		60.4%	59.4%	59.1%	61.2%	
(5) 施設の収入　※次頁に入力する		10,162,285	10,712,418	9,977,620		
(6) 運営コストのうち、利用料収入の割合		52.1%	51.8%	48.7%		

Ⅲ　収支差額の状況

(1) 指定管理料のみで運営している施設　　注：【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入				※ 施設利用料金は、掛川市に収入される
(b) 指定管理料				
収支差額　(a)－(b)	0	0	0	

(2) 利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入	10,162,285	10,712,418	9,977,620	※ 施設利用料金は、指定管理者へ収入される
(b) 収支差額 【(a)－トータルコスト】	−22,132,199	−24,058,021	−24,657,723	
(c) (b)に対する市の支出額（＝指定管理料）	20,608,000	19,503,000	19,503,000	

(3) 自主事業及びその他事業の状況

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 自主事業の収入	1,559,716	2,830,523	3,130,644	
(b) 自主事業の支出	1,187,536	1,208,227	1,773,675	
収支差額　(a)－(b)	372,180	1,622,296	1,356,969	
(c) その他事業の収入	1,322,129	0	1,349,989	光熱費高騰対策支援金ほか
(d) その他事業の支出	0	0	0	
収支差額　(c)－(d)	1,322,129	0	1,349,989	

【単年度収支】

	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
単年度収支	170,110	−2,932,725	−2,447,765	(利用料金＋指定管理料＋自主事業収支＋その他事業収支)－トータルコスト
対前年度増減率		−1824.0%	−16.5%	

Ⅳ　担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている		
1	設置目的を一部達成できていない		
0	設置目的を達成できていない		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成：3点　8割達成：2点　6割達成：1点　6割以下の達成度：0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
A　施設全体の満足度	90%以上	93.0%	3	・幅広い利用者層へのサービス展開を行い、市民の健康づくりやスポーツ活動への参加に貢献する施設運営を目指す。 ・利便性を向上させるサービスを実施する。
B　サービス内容の満足度	90%以上	95.0%	3	・より利用しやすい施設となるよう、需要に合わせて既存プログラムの見直しやイベント等を企画する。 ・高校野球やソフトボールの開催と連携し、観客をターゲットにサービス向上を図る。
C　従業員応対の満足度	90%以上	100.0%	3	・引き続き接遇研修を実施し、従業員の資質向上に努める。
D　施設安全対策の満足度	90%以上	93.0%	3	・施設の老朽化を考慮し、優先順位をつけて施設修繕を行う。 ・安全対策に関する職員の知識の向上 ・ヒヤリハット事例の蓄積、災害対策マニュアル等の周知や防災訓練の実施
E　美感・清潔感の満足度	90%以上	92.0%	3	・引き続き清掃マニュアルに基づく清掃点検を徹底し、日常清掃点検を強化する。
F　施設の利用者数	89,430人	68,782人	1	・施設利用者数の増加。 ・幅広い利用者層へのサービス展開を行い、既存プログラムを見直すなどし、施設の利用者数の目標を達成する。

(3) 収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点とする。

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より収支状況が向上している	0	・収支バランスの改善 ・施設の老朽化等に伴い修繕費がかさみ、収支が赤字となっている。
2	前年度と同等の収支状況となっている		
1	前年度より収支状況が縮小している		
0	収支差額が赤字になっている		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	・硬式野球開催時の安全対策を周知徹底する必要性 ・災害時における職員の対応手順等の理解向上 ・災害対策マニュアル等の周知や防災訓練の実施
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	・民間事業者でも実施可能であるが、持続可能なスポーツ環境を確保するため行政の一定の関与が必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	・収支バランスの改善 ・施設の安全対策や利便性向上、合宿の誘致など利用者のニーズを把握し、収支バランスの取れた経営に努める。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

25 ／ 33

Ⅴ その他自由意見